

催す際には幼児をして料理の手傳、食卓の裝飾、食器の用意等をなさしめ、自然に協同精神、社交の趣味、美的觀念、整頓清潔並に作法等の諸徳を修め、且起居動作により相當の運動も與へらるゝ等益少なくない。最近(二月二十日)園外保育を試みた。春草稍々芽ぐんだ内に餅草を見出し、種々な質問應答の後これを摘み多量に收穫があつた。翌日の晝食は例の草餅の献立とした翌日は早朝より餅草をゆでる、粉を捏ねる、蒸す、白い餅が草色に變るのを幼児は興味を以て迎へ種々の批評をして居た。食卓を圍んだ時は早や十二時であつた。次に運動を厭ふ幼児を時々見ますがそれは氣の弱いのに依るか、病身に依るかが多い。強制すべきではないが、運動に興味を持つ機會を與へる事が大切である。會話や繪畫により或は園外保育時等には最もよい機會を捕へる事が出来る。又運動に變化あらしめる事も獎勵の條件である。食物並に

運動により體育の改善は或程度まで成績を收め得らるゝと信ずる。

三、家庭の事情

家庭の事情を知るは單に保育上の參考に資せんが爲であるが故に、立ちいつて調査じみた事を感ぜしむるは禮を失するし且反感を起さしむるものなれば、この點に特に注意を要する。

以上三項は極めて簡単な事實の如くであるが實行繼續は至難に屬する。何卒皆様の園に實施せられて居ります事を承らせて頂き且右の事項中お氣附の點を御示導頂き、大に猛進努力致し度いと存じます。

○ 東京京橋區 朝海幼稚園 千葉 ひで

本園在籍幼児は二百名で昭和四年度の修了兒は百十名で御座います。新入園兒も百十名許可いたします。

四月二日入園式をいたします豫定。入園兒はこれを二組に分けます。

一年保育を櫻組と稱し櫻の花を胸につけます

二年、三年、保育を菊の組と稱し菊の花を胸につけます

新入園兒のお辨當は幼兒の希望にまかせ隨意にいたします。男兒には帽子の徽章女兒にはメダルを給し、各兒一同へ上靴を貸與いたします。(以上は保護者會より支給但、會費は一ヶ月金二十錢)園といたしましては一年保育の幼兒に塗畫帖を與へ、整理箱にクレイオン。ハサミを貸與いたして置きます。保護者に對しましては印刷物「入園につき」を渡し又小冊子「躰方について」を一部づゝ添へて進呈いたします。

尙ほ家庭との連絡の爲め通信簿を渡し毎月身長體量も通知いたします。

入園後一ヶ月の後別紙の印刷物を家庭へ送り各欄へ記入を乞ひます。

本園は震災後運動場を缺き幼兒は自然物に接觸する機會がなく長い間困つて居りましたが、四月より傍らに小公園が出来ますので、それを利用する事になつて居りますから、幼兒一同さぞ満足する事と楽しみに致して居ります。

入園につき

- 一、幼兒の服装は質素にして下さい
- 一、幼兒が長者を敬ぶ様にして下さい
- 一、毎朝鼻紙と手拭は忘れぬ様にして下さい
- 一、幼稚園へ玩具を持参させぬ様にして下さい
- 一、幼稚園へ往復の途中幼兒の欲しがるものを買はぬ様にして下さい
- 一、辨當は金屬製の丸形がよいのです
- 一、箸と茶椀は園で消毒したのをお貸しいたします
- 一、辨當袋は園に見本が御座います
- 一、帽子、辨當、手拭、マント、襟巻等へ必ず名前をつけて下さい
- 一、幼兒の事に就きましては電話にて差支へがありませんか

らドシ〜と御相談下さい

一、御父兄は度々幼稚園へお出で下さいまして幼児の遊んで

居る所を御覽下さい

一、幼児の扱ひ方は園と同じ様に願ひます

一、外出から歸つた時は必ず手を洗わせて下さい食前後に食

鹽水でうがいをして下さい(但微温湯)

一、何事も御遠慮なく御相談を願ひいたします

一、附添人は一週間以内に離すことにお願ひいたします

幼児の家庭状況しらべ

御両親は お丈夫で すか	御兄弟は 何人で か	生後大病に かゝつた事 が、又は持 病があるま すか	朝起る時間 と夜寝むる
御祖母 御父母 はありま すか	母乳でし たか	お友だち の良否を おしるし 下さい	お宗旨は

時間をおし るし下さい	長所と短 所をおし るし下さ い	何の遊びが 一番好きで すか、玩具 は何を好み ますか	お菓子と 果物は何 がすきで すか	お小使は つかいま すか、金 高をお記 し下さい
何ですか	雇人は何 人ですか	幼稚園を好 みますか、 不可の時は 理由をおし るし下さい	入園前と 入園後は 如何です か	園への希 望をおし るし下さ い

○ 成田幼稚園 山口 政子

昭和二年の春入園致しました幼児は満三年の保